

白熱！タイピングチャンピオンシップ

令和6年9月30日（月）



24日（火）から、「最速は誰だ 第1回タイピングチャンピオンシップ」が行われました。これは、児童のタイピング技術の向上を意図した企画です。授業では、子どもたちは一人一台端末を毎日使い、学習を進めています。情報社会を生きる子どもたちにとって、ICTを活用する技術は、文字を読み書きすること、大切な情報を聞き取ること、わかりやすく相手に伝えること、計算がスムーズにできることと同じくらい大事な能力となります。毎日タブレットを活用する場面があるものの、子どもたちの間にはタイピング（文字入力）の技術には大きなばらつきがあることが気になっていました。そこで、このタイピングチャンピオンシップの開催となりました。今回は、学級代表の児童による競技としましたが、今後はタイピング検定（仮）も実施する予定です。

タイピングチャンピオンシップは、友だちの応援も多く、熱戦が繰り広げられました。対決後の子どもたちからは「もっと練習しよう」「もっと〇〇すると～」と、タイピングへの意欲が高まっていました。

